

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 幼児活動研究会株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2152 URL <http://www.youji.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山下 孝一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)川口 弘之 (TEL)03-3494-0262  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,657	9.8	402	152.6	405	149.7	225	879.5
24年3月期第2四半期	2,419	3.9	159	△52.3	162	△51.9	22	△89.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 212百万円( 589.6%) 24年3月期第2四半期 30百万円( △85.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	167.09	161.84
24年3月期第2四半期	17.07	16.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,441	3,287	60.4
24年3月期	5,283	3,104	58.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,287百万円 24年3月期 3,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	3.6	600	17.0	600	16.5	350	173.2	259.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	1,350,500株	24年3月期	1,347,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	136株	24年3月期	136株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	1,347,743株	24年3月期2Q	1,346,886株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	5
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	6
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	7
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	7
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	7
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	7
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	7
4.	四半期連結財務諸表 .....	8
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	8
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	10
	四半期連結損益計算書 .....	10
	四半期連結包括利益計算書 .....	11
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
	(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	13
	(5) セグメント情報等 .....	13
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13
	(7) 重要な後発事象 .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,657百万円（前年同四半期比9.8%増）、経常利益405百万円（前年同四半期比149.7%増）、四半期純利益225百万円（前年同四半期比879.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主として正課体育指導契約件数及び課外体育指導会員数が堅調に増加した結果、前年同四半期比9.8%増となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上原価については、前年同四半期比7.0%増と売上高の増加率以下の水準で推移しており、また当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費についても、前第2四半期連結累計期間に計上した128百万円の寄付金の影響を除いたベースでも、前年同四半期比0.9%増に抑えられており、体育指導関連業務のための事業性資本への資本の集中とシステム投資による生産性の向上により、利益率が前年同四半期と比較して上昇しております。

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの従業員数は、幼児体育指導関連事業で421人、コンサルティング関連事業で6人、全社共通で19人、グループ全体で446人（前年同四半期比0.7%増）となっております。平成23年9月末における従業員数は、幼児体育指導関連事業で416人、コンサルティング関連事業で7人、全社共通で20人、グループ全体で443人でした。

当第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、167円09銭、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、161円84銭となりました。前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、17円07銭、前連結会計年度における1株当たり当期純利益は、95円13銭です。

年率換算した自己資本利益率は、14.1%となっております。前連結会計年度における自己資本利益率は、4.2%でした。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(1-1) 幼児体育指導関連業務

正課体育指導の実施会場数は前連結会計年度末の866園から36園増加し、当第2四半期連結会計期間末は902園となりました。このうち、YYプロジェクトに基づく正課体育指導の会場数は、前連結会計年度末の193園から、当第2四半期連結会計期間末は11園増加して204園となりました。

また当第2四半期連結会計期間末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、862カ所51,026名となりました。前連結会計年度末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、827カ所47,544名です。課外体育指導の会員数は、前連結会計年度末の会員数に対して7.3%増となっております。

これらの結果、幼児体育指導関連業務に係る売上高は、2,464百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益は366百万円（前年同四半期比157.9%増）となりました。

(1-2) コンサルティング関連事業

コンサルティング契約件数は、前連結会計年度末の277件から11件増加し、当第2四半期連結会計期間末は288件となりました。このうちYYプロジェクトに基づくトータルサポート契約件数は、前連結会計年度末の220件から、当第2四半期連結会計期間末は235件と増加致しました。

これらの結果、コンサルティング関連業務に係る売上高は、192百万円（前年同四半期比6.2%増）、セグメント利益は33百万円（前年同四半期比126.9%増）となりました。

(参考) YYプロジェクト導入園数、体育指導実施会場数及び会員数の動向

1. 幼児体育指導関連事業

	23年3月期	24年3月期	24年3月期	25年3月期	増減率(%)	
	(23年3月末日)	第2四半期 (23年9月末日)	(24年3月末日)	第2四半期 (24年9月末日)	(注)2	(注)3
正課体育指導						
実施会場数	829	862	866	902	4.6	4.2
(うち、YYプロジェクト)	(175)	(190)	(193)	(204)	7.4	5.7
幼稚園	568	580	581	598	3.1	2.9
保育園	233	257	259	277	7.8	6.9
その他 (注)1	28	25	26	27	8.0	3.8
課外体育指導						
実施会場数	793	821	827	862	5.0	4.2
幼稚園	627	635	638	651	2.5	2.0
保育園	134	152	155	174	14.5	12.3
その他 (注)1	32	34	34	37	8.8	8.8
会員数	44,490	46,330	47,544	51,026	10.1	7.3
YY塾						
実施会場数	3	3	3	3	0.0	0.0
会員数	104	144	143	149	3.5	4.2

(注) 1. その他は、幼稚園、保育園以外の学校及び専門学校等を含みます。

2. 平成25年3月期第2四半期(24年9月末日)の平成24年3月期第2四半期(23年9月末日)に対する増減率です。

3. 平成25年3月期第2四半期(24年9月末日)の平成24年3月期(24年3月末日)に対する増減率です。

2. コンサルティング関連事業

	23年3月期	24年3月期	24年3月期	25年3月期	増減率(%)	
	(23年3月末日)	第2四半期 (23年9月末日)	(24年3月末日)	第2四半期 (24年9月末日)	(注)3	(注)4
コンサルティング契約件数	253	269	277	288	7.1	4.0
(うち、YYプロジェクト)	(201)	(217)	(220)	(235)	8.3	6.8
(内訳1)						
幼稚園	119	130	134	139	6.9	3.7
保育園	124	129	132	140	8.5	6.1
その他	10	10	11	9	△10.0	△18.2
(内訳2)						
トータルサポート COSMO21 (注)1	232	248	253	263	6.0	4.0
サポート日経 (注)2	21	21	24	25	19.0	4.2

- (注) 1. トータルサポートCOSMO21は、幼稚園・保育園と個々に年間契約（年間12回訪問）を交わし、保育面、経営面等を総合的に支援する事業です。
2. サポート日経は、幼稚園・保育園と個々に年間契約（年間6回訪問）を交わし、保育面、経営面等に対して助言・指導する事業です。
3. 平成25年3月期第2四半期(24年9月末日)の平成24年3月期第2四半期(23年9月末日)に対する増減率です。
4. 平成25年3月期第2四半期(24年9月末日)の平成24年3月期(24年3月末日)に対する増減率です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,441百万円となっており、前連結会計年度末に対して157百万円の増加となりました。

総資産の前連結会計年度末比157百万円の増加となっておりますが、流動資産は前連結会計年度末比で154百万円の増加、固定資産は、同3百万円の増加となっております。

流動資産残高については、主として現預金およびマネー・マーケット・ファンド（有価証券として計上）残高の増加により、前連結会計年度末に対して154百万円増加しております。現預金およびマネー・マーケット・ファンド残高の変動要因については、営業活動によるキャッシュ・フローが306百万円の収入となっており、投資活動によるキャッシュ・フローが37百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが96百万円の支出となっていることが要因となっております。

固定資産については、ネットワーク等システム関連投資等によりソフトウェアが17百万円増加し、繰延税金資産が24百万円増加したものの、減価償却により24百万円、投資有価証券の売却により9百万円、投資有価証券の時価の下落により19百万円減少したため、固定資産残高は、前連結会計年度末と比較して3百万円の増加にとどまりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,154百万円となっており、前連結会計年度末に対して24百万円の減少となりました。減少の要因は、退職給付引当金が49百万円、未払法人税等が60百万円、それぞれ増加したものの、未払債務（買掛金、未払金、未払費用の合計額）が90百万円、長期債務（長期借入金と社債の合計額）が66百万円、それぞれ減少したためです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金等の増加により3,287百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前第2四半期連結累計期間末より539百万円増加し、3,790百万円（前年同四半期比16.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果生じたキャッシュ・フローは、306百万円の収入となりました（前年同四半期は52百万円の支出）。営業活動に係るキャッシュ・フローが306百万円の収入となった要因は、営業利益402百万円、減価償却費24百万円、運転資本の変動△3百万円、運転資本以外の資産及び負債項目の変動25百万円、税金等の支出145百万円、等に因るものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果生じたキャッシュ・フローは、37百万円の支出となりました（前年同四半期は18百万円の支出）。投資活動に係るキャッシュ・フローが37百万円の支出となった要因は、投資有価証券の売却による収入5百万円、ネットワークシステム等システム関連投資等による支出33百万円、生命保険契約による支出9百万円等に因るものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果生じたキャッシュ・フローは、96百万円の支出となりました（前年同四半期は71百万円の支出）。財務活動に係るキャッシュ・フローが96百万円の支出となった要因は、長期借入金の返済及び社債の償還による支出66百万円、配当金の支払いによる支出35百万円に因るものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想は、下記に示すとおりです。

平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	5,200	600	600	350	259 84
（参考）前期実績 （平成24年3月期）	5,018	513	515	128	95 13

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,526,731	2,589,042
売掛金	160,715	143,029
有価証券	1,191,203	1,301,577
商品	7,340	5,579
貯蔵品	2,756	2,578
繰延税金資産	80,106	85,940
その他	39,675	34,783
貸倒引当金	△655	△196
流動資産合計	4,007,873	4,162,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	108,724	104,707
工具、器具及び備品(純額)	37,628	32,919
土地	258,597	258,597
有形固定資産合計	404,951	396,225
無形固定資産		
投資その他の資産	98,686	106,276
投資有価証券	74,642	45,870
保険積立金	271,133	281,051
繰延税金資産	288,920	313,446
投資不動産(純額)	85,648	85,648
その他	51,470	50,457
投資その他の資産合計	771,815	776,474
固定資産合計	1,275,453	1,278,976
資産合計	5,283,327	5,441,310
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	96,538	68,869
未払金	121,795	55,582
未払費用	30,292	33,787
1年内返済予定の長期借入金	72,000	72,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	150,161	211,107
前受金	14,468	19,127
賞与引当金	156,700	160,400
その他	71,826	75,197
流動負債合計	773,783	756,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	240,000	210,000
長期借入金	138,000	102,000
退職給付引当金	793,877	843,431
役員退職慰労引当金	232,920	242,645
その他	126	126
<b>固定負債合計</b>	<b>1,404,924</b>	<b>1,398,202</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,178,707</b>	<b>2,154,275</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	431,260	433,710
資本剰余金	283,177	285,627
利益剰余金	2,386,354	2,576,526
自己株式	△241	△241
<b>株主資本合計</b>	<b>3,100,550</b>	<b>3,295,622</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,069	△8,587
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>4,069</b>	<b>△8,587</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,104,619</b>	<b>3,287,034</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,283,327</b>	<b>5,441,310</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,419,503	2,657,160
売上原価	1,691,915	1,810,958
売上総利益	727,587	846,202
販売費及び一般管理費	568,288	443,750
営業利益	159,298	402,451
営業外収益		
受取利息	213	198
受取配当金	721	1,127
受取賃貸料	271	271
保険解約返戻金	636	—
受取手数料	1,966	3,198
その他	285	1,004
営業外収益合計	4,095	5,800
営業外費用		
支払利息	821	2,267
不動産賃貸原価	247	663
その他	9	0
営業外費用合計	1,077	2,931
経常利益	162,316	405,320
特別損失		
投資有価証券評価損	23,140	—
投資有価証券売却損	84	3,324
特別損失合計	23,224	3,324
税金等調整前四半期純利益	139,091	401,995
法人税、住民税及び事業税	137,605	200,157
法人税等調整額	△21,504	△23,351
法人税等合計	116,100	176,805
少数株主損益調整前四半期純利益	22,991	225,189
四半期純利益	22,991	225,189

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,991	225,189
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	7,826	△12,656
その他の包括利益合計	7,826	△12,656
四半期包括利益	30,817	212,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,817	212,533
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	139,091	401,995
減価償却費	21,372	24,113
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	39,589	49,553
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,355	9,724
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,300	3,699
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	40	△459
受取利息及び受取配当金	△934	△1,326
支払利息	821	2,267
投資有価証券売却損益 (△は益)	84	3,324
投資有価証券評価損益 (△は益)	23,140	—
保険解約返戻損益 (△は益)	△636	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,138	17,685
商品の増減額 (△は増加)	685	1,760
貯蔵品の増減額 (△は増加)	2,107	178
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,882	392
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,843	△27,668
前受金の増減額 (△は減少)	43,349	4,659
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△88,507	△38,687
その他	1,015	987
小計	162,010	452,203
利息及び配当金の受取額	968	1,393
利息の支払額	△767	△2,214
法人税等の支払額	△214,964	△145,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,753	306,358
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,418	△7,457
無形固定資産の取得による支出	△11,055	△25,691
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,520	5,782
保険積立金の払戻による収入	16,669	—
その他	△4,295	△10,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,578	△37,569
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△36,000	△36,000
社債の償還による支出	—	△30,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	4,900
自己株式の取得による支出	△110	—
配当金の支払額	△34,935	△35,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,046	△96,104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△142,378	172,684
現金及び現金同等物の期首残高	3,393,832	3,617,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,251,453	3,790,619

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,238,480	181,023	2,419,503	—	2,419,503
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,265	28,643	37,908	(37,908)	—
計	2,247,745	209,666	2,457,411	(37,908)	2,419,503
セグメント利益	142,117	14,787	156,904	2,394	159,298

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去2,394千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,464,952	192,208	2,657,160	—	2,657,160
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,532	24,402	33,934	(33,934)	—
計	2,474,485	216,610	2,691,095	(33,934)	2,657,160
セグメント利益	366,505	33,546	400,051	2,400	402,451

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去2,400千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。